

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 125

発生場所	トイレ	精神・意識障害の有無	リスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所 (その他)		無	
関連したもの	段差	発生内容の分類	
		転倒	

発生内容

転倒

概要

バストイレ付きの個室に腰痛で入院した78歳の女性患者。ベッドから車いすに乗りトイレに行こうとした際に、入り口段差の角で左足3-5趾を打撲し受傷。診断の結果骨折が確認された事例。

要因

患者は腰痛で床上安静であったが、安静度と可動範囲の拡大により自力でトイレに行こうとした。その結果、ユニットバスの入口の段差につまづいて受傷した。当院は3年前に施設の増改築工事を行い、新たに増築した病棟ではバリアフリーの段差の無い構造となったが、改修した病棟のバストイレ付き個室は、ユニットバスを設置する際に床との段差を解消することが困難で、20cm程度の段差がある構造となっており、トイレに入ろうとした際にその段差につまづいて受傷した。

対策

階段の滑り止めのような、角を覆うような製品を探したが、扉との隙間を保ちながら角を覆えるような物が見つからず、現状では扉に「段差注意」の張り紙を貼付している。

参照



ユニットバスの入口にある段差



事例発生後に作成した注意喚起の掲示物